

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

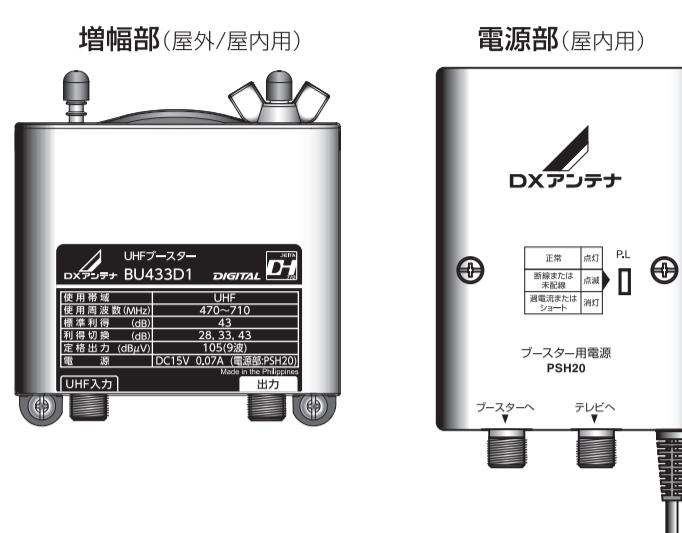
DIGITAL

家庭用ブースター

UHF 470~710MHz 増幅用
前置ブースター用給電スイッチ付
DC15V電源重畳方式

BU433D1

UHF 33dB/43dB共用形



ケーブルテレビとFM放送には使用できません。

付属品	防水キャップ	F-5接栓リング付
	…2個	(5C相当ケーブル用)

■ブースターの効果について(知っておいていただきたいこと)

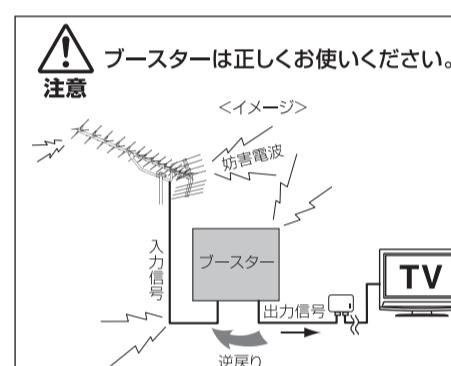
このような場合に効果があります

- 分配端子が多く、壁面端子レベルが不足する場合
- テレビやデジタルレコーダーを増やしたとき
- 弱電界地域での受信

このような場合、ブースターを使用しても効果がありません

- 電波の受信品質が低い
 - 例: 視聴エリアではない電波塔にアンテナを向けていたり、朝夕で映らないチャンネルがあるなど

受信品質を向上させるため、アンテナを再調整したり、アンテナを変更する必要があります。
工事店にご相談ください



ブースターは正しくお使いください。
<イメージ>
●入力端子・出力端子の配線は、取扱説明書に従い確実に行なう
●入力側と出力側のケーブルは、束ねたりブースターに巻きつけない
●配線には必ず同軸ケーブルを使う
●アンテナマストに取り付ける場合、アンテナとブースターの距離を1m以上離す

ブースターを正しく使用しないと、ブースター内で増幅された出力信号が正常にテレビへ送られず、また出力信号の一部が入力側に逆戻りして、発振(妨害電波)を発生する現象)を起こすことがあります。一台のブースターが発振を起こすと、ご近所の数十台、数百台のテレビの映りが悪くなることがあります。

安全上のご注意

お使いになる方や他人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

	一般的な注意事項		機器の分解禁止		水ぬれ禁止		接触禁止		一般的な禁止事項		指示を守る
--	----------	--	---------	--	-------	--	------	--	----------	--	-------

警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

テレビ受信工事には技術と経験が必要です。
お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない
火災や感電の原因となります。

製品内部に水などが入った場合や、落として破損した場合は、ブースター電源部の電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
お買い上げの販売店・工事店にご連絡ください。

製品の上に乗らない
こわれたりしてけがの原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

以下の場所に設置しない

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
・強度の弱い場所
・不安定な場所
・ぐらついたり振動したりする場所
・傾いたりの場所

ブースター電源部を以下の場所に設置しない
変形や火災、感電など事故の原因となり、製品寿命が短くなることがあります。
・直射日光の当たる場所
・放熱機能のないボックス内
・屋外・風呂場・洗い場・水かかる場所
・湿気やほこりの多い場所
・調理台や加湿器のそばなど高温になる場所
・油煙や湯気がある場所

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしない

また、重いもののせたり、加熱したり(熱器具に近づける)、引っぱったりしない

火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだとき(心線の露出、断線など)はお買い上げの販売店・工事店にご相談ください。

注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

AMラジオから1.5m以上離して使用する
AMラジオの近くで使用するとラジオ音声にノイズが入る場合があります。

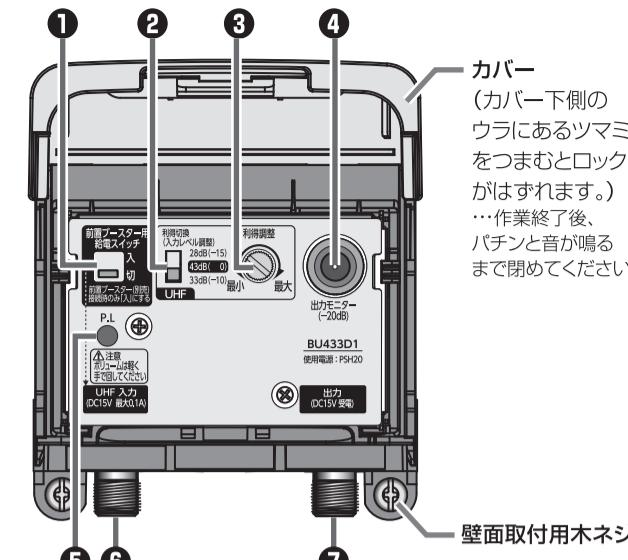
注意

お手入れの際は、ベンジン・アルコール・シンナーなどは使わない

塗装がはげたり、変質することがあります。お手入れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学雑巾を使用する際は、その注意書きに従ってください。

1 各部の名称と機能

■増幅部



増幅部の説明

1 前置ブースター用給電スイッチ

増幅部とUHFアンテナ間に前置ブースターを接続する場合に「入」にします。(電源供給が同軸重畠方式の前置ブースターの場合)

※出荷時:切

2 利得切換(入力レベル調整)スイッチ

アンテナからの信号を増幅する際の利得を選択します。

※出荷時: UHF 33dB(-10)

3 利得調整ボリューム

各帯域において、利得を10dB連続で可変できます。

※出荷時: 利得最大

※ボリュームは必ず手で回してください。(工具を使うと破損します。)

4 出力モニター端子(-20dB)

レベルチェッカー等を用いて調整をする場合に使用します。

5 P.L.(バイロットランプ)

電源を供給すると点灯します。

6 UHF入力端子

UHFアンテナに接続します。

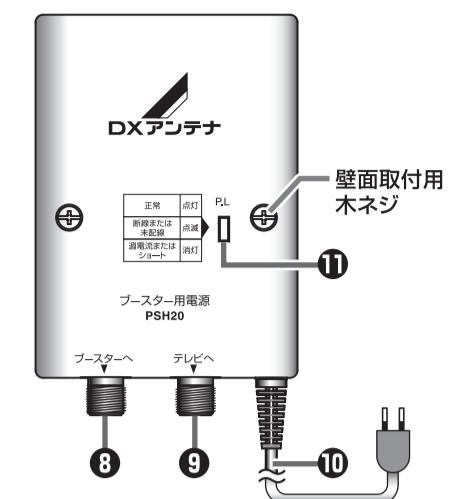
①を「入」にするとUHF前置ブースターに電源を供給できます。

7 出力端子

③と接続します。

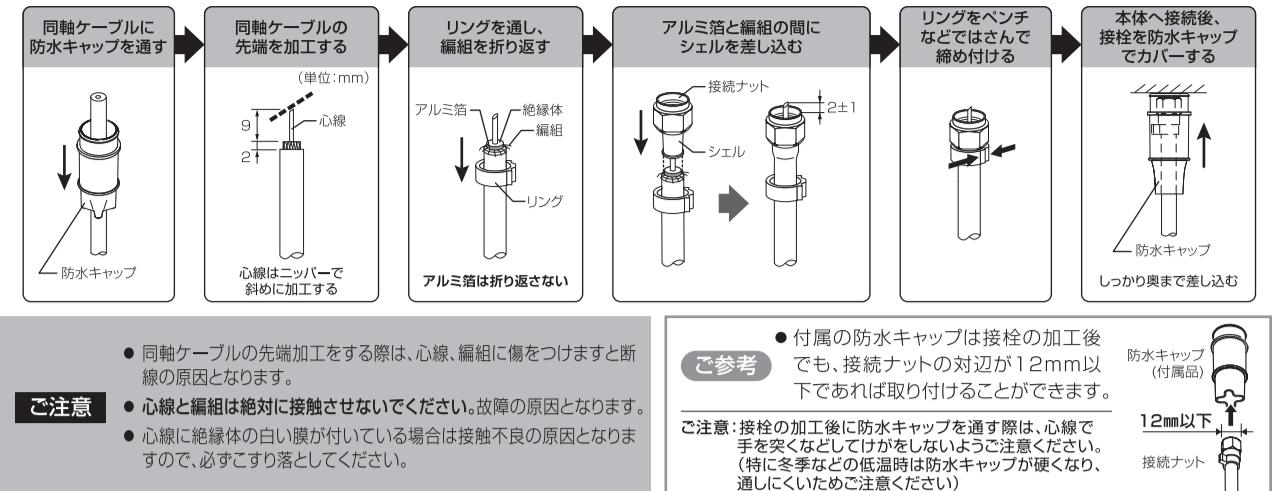
増幅された信号が出力されます。

■電源部



3 同軸ケーブルを準備する

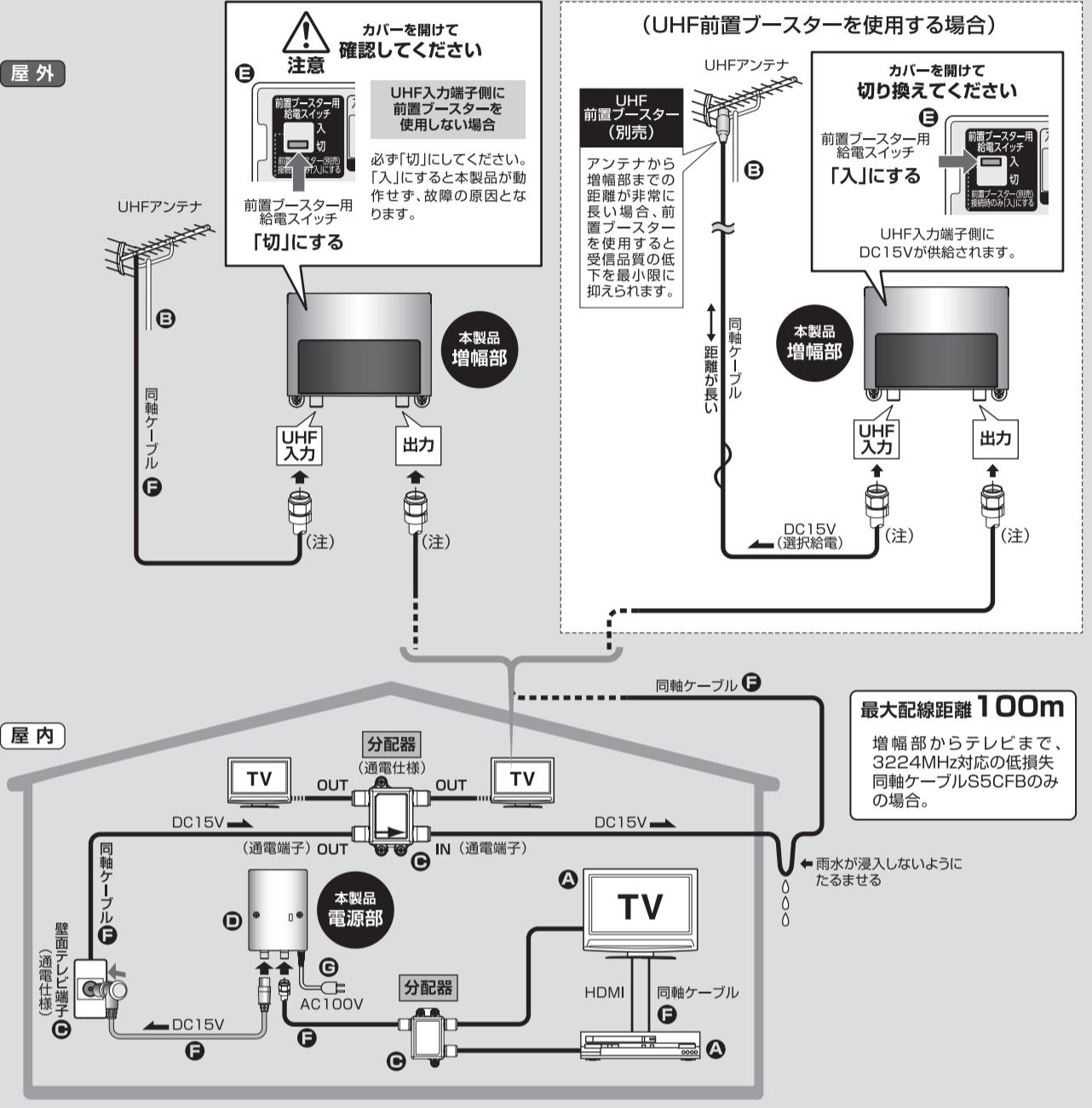
F-5接栓(付属品)への同軸ケーブル接続方法(S5CFB相当ケーブルの場合)



4 接続例

*図中のⒶ～Ⓑは、後述「6うまく映らないときは」に対応しています。

増幅部と電源部の間に接続する機器は、通電形を使用してください。



5 調整する

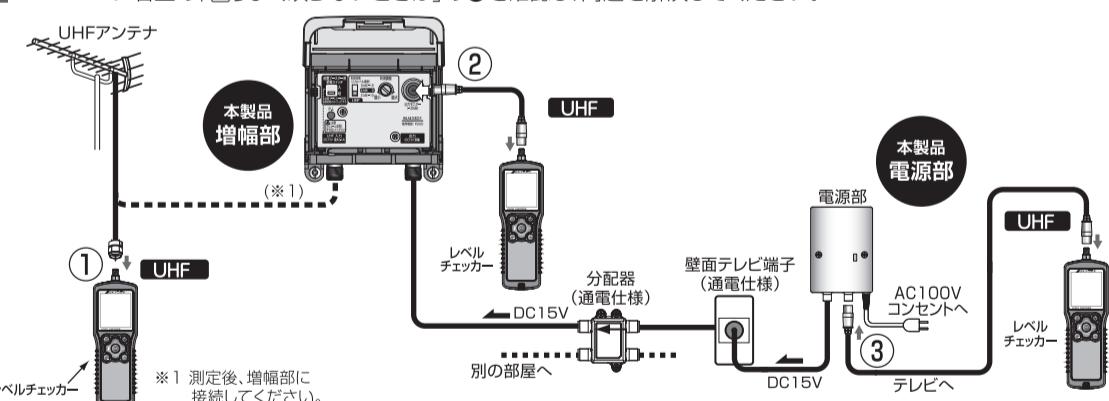
調整にはレベルチェッカー等の測定器を使用してください。

調整をはじめる前に

- 出荷時設定を確認してください。
- 利得切換スイッチ(入力レベル調整)…UHF:3dB(-10) 利得調整ボリューム…最大
- 增幅部と電源部を同軸ケーブルで接続してください。次に、電源部の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込み、增幅部と電源部のバイロットランプがともに点灯することを確認してください。

<バイロットランプが点滅している、または消灯している場合>

ページ右上の「6うまく映らないときは」のⒶを確認し、問題を解決してください。



① 入力レベルの確認

ブースターへの入力レベルをレベルチェックで確認し、受信可能なチャンネルの入力レベルに応じて「利得調整スイッチ」を選択してください。

● 入力レベル範囲の下限(UHF:41dB μ V)に満たない場合
アンテナの方向の再調整を行ってください。それでも改善しない場合は、前置ブースターの追加や、高利得/狭指向性アンテナへの変更の検討が必要です。

● 入力レベル範囲の上限(UHF:77dB μ V)を超える場合
別売のアッテネーターを使用して調整してください。

帯域	入力レベル	利得切換スイッチ
UHF	41～62 dB μ V	28dB(-15) 43dB(0) 33dB(-10)
UHF	51～72 dB μ V	28dB(-15) 43dB(0) 33dB(-10)
UHF	56～77 dB μ V	28dB(-15) 43dB(0) 33dB(-10)

入力レベルの測定値によって、複数のスイッチに当たる場合は、高い利得側を選択してください。

② 出力レベルの確認

出力モニターフィードにレベルチェックを接続して定格出力レベル(出力モニターフィード+20dB)を超えないように利得調整ボリュームを調整してください。

帯域	定格出力レベル
UHF	105 dB μ V



③ 最終チェック

テレビ受信機(以下テレビ)への入力レベルをレベルチェックで確認し、右表(上段)の範囲であることを確認してください。最後にテレビでの受信可能なチャンネルの映像が正常に映ることを確認してください。

● レベルの上限を超える場合
利得調整ボリュームで調整してください。
調整できない場合は、利得切換スイッチを再調整してください。

● レベルの下限に満たない場合
ページ右上の「6うまく映らないときは」のⒶをご確認後、お買い上げの販売店、および工事店にご相談ください。

帯域	テレビ受信機入力レベル(※2)
UHF	47～81 dB μ V

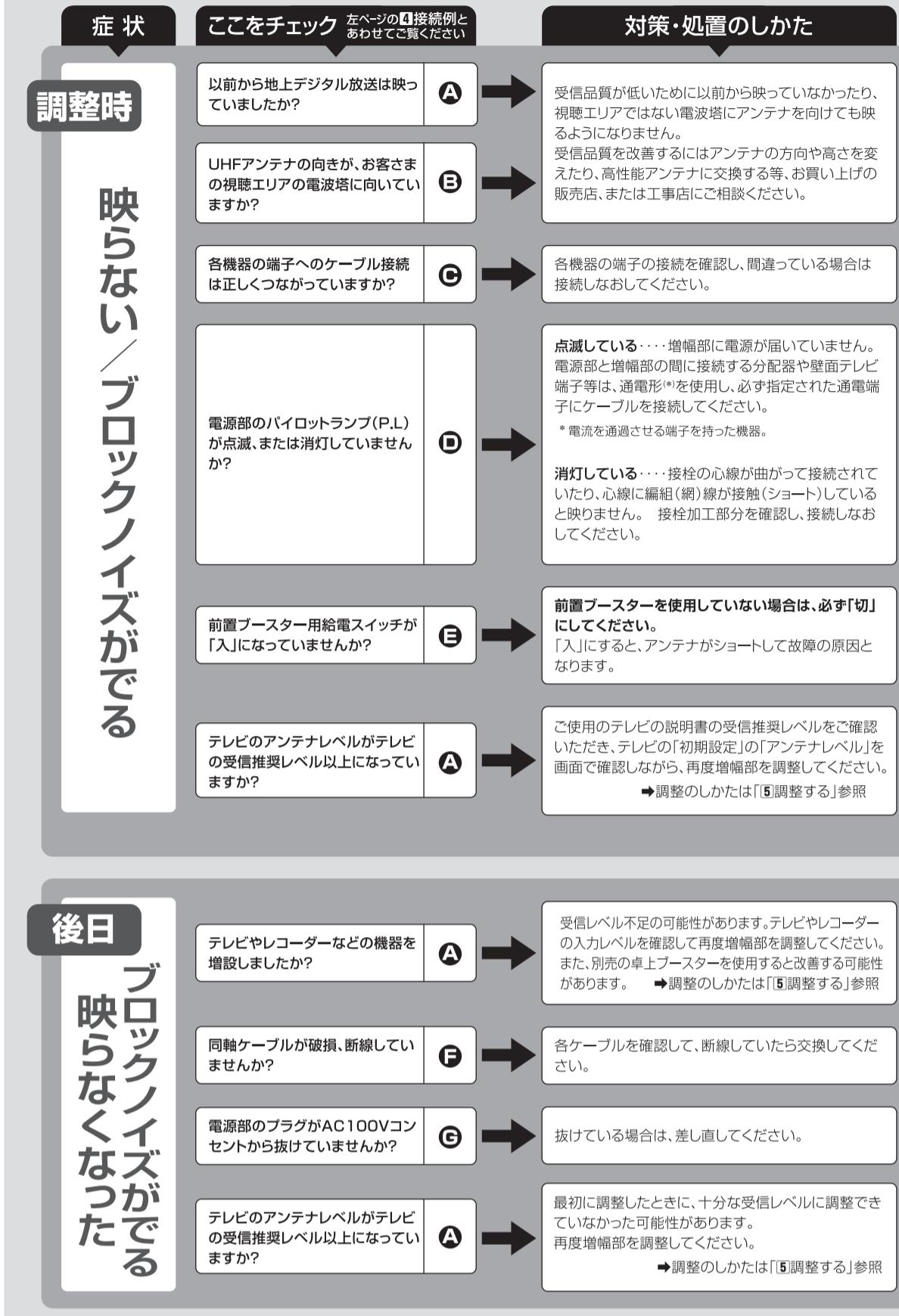
帯域	壁面テレビ端子出力レベル(※2)
UHF	50～81 dB μ V

※2 2017年5月31日時点

6 うまく映らないときは ここをチェックしてください

調整しても放送が映らない場合や、後日画面にノイズがでたり、映らなくなった場合は下記項目をチェックしてください。

テレビの設定メニューなどで表示・確認できる「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値が、ブースターを使用しても変わらない、あるいは下がる場合がありますが、これらの機能はアンテナの方向調整を目的にしたもので、電波の強さ(レベル)を示すものではありません。受信品質を向上させるためにはアンテナの高さや方向を再調整する、または高性能アンテナに変更する必要があります。



電源部: PSH20	
使 用 周 波 数 (MHz)	10～2610
電 源 / 定 格 消 費 電 力 (V/W)	AC100(50/60Hz)/10
重 量 電 源 (V/A)	DC15/0.5
入 カ レ ベ ル (dB μ V)	75(F形)
標 準 利 得 (dB)	75(F形)
定 格 出 力 (dB μ V)	105(9波)
利得切換(入力レベル調整) (dB)	28, 33, 43(スイッチ切換) (※1)
利 得 調 整 範 囲 (dB)	0～10dB(連続可)
帶 域 内 周 波 数 特 性 (dB)	±2.5以内
雜 音 指 數 (dB)	1.5dB以下 (※2)
入出力インピーダンス (Ω)	75(F形)
V S W R	3.0以下
直 流 供 給 電 源	DC15V 0.1A
電 源 / 消 費 電 力 (電 源: PSH20 使用 時)	AC100V(50/60Hz)/2.0W, 3.9W(※3) DC15V/0.07A, 0.17A(※3)
使 用 温 度 範 囲 (°C)	-20～+50
外 形 尺 度 (mm)	84(H)×90(W)×35(D)
質 量 (kg)	0.2

JEITAマーク710(デジタルハイビジョン受信マーク710)は、一般社団法人電子情報技術産業協会で審査登録された一定以上の性能を有する機器のうち、UHF帯域(ch13～ch52)に対応したブースターに付与されるシンボルマークです。

●この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

●電源部の規格は、電源部本体の裏面にも表示しています。仕様は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。

仕様

BU433D1	
使 用 帯 域	UHF
使 用 周 波 数 (MHz)	470～710
入 カ レ ベ ル 範 囲 (dB μ V)	41～77(※1)
標 準 利 得 (dB)	43
定 格 出 力 (dB μ V)	105(9波)
利得切換(入力レベル調整) (dB)	28, 33, 43(スイッチ切換) (※1)
利 得 調 整 範 囲 (dB)	0～10dB(連続可)
帶 域 内 周 波 数 特 性 (dB)	±2.5以内
雜 音 指 數 (dB)	1.5dB以下 (※2)
入出力インピーダンス (Ω)	75(F形)
V S W R	3.0以下
直 流 供 給 電 源	DC15V 0.1A
電 源 / 消 費 電 力 (電 源: PSH20 使用 時)	AC100V(50/60Hz)/2.0W, 3.9W(※3) DC15V/0.07A, 0.17A(※3)
使 用 温 度 範 囲 (°C)	-20～+50
外 形 尺 度 (mm)	84(H)×70(W)×35(D)
質 量 (kg)	0.22

JEITA表示による

※1 入力レベル範囲に応じて利得切換(入力レベル調整)スイッチを選択してください。

・41～62dB μ Vの場合: [43dB(0)]

・51～62dB μ Vの場合: [33dB(-10)]

・56～77dB μ Vの場合: [28dB(-15)]

※2 470～500MHz: 1.7以下、650～710MHz: 2.0以下(利得最大時)

※3 UHF側電源供給時

型番	お 買 上 年 月 日	保証期間
BU433D1	年 月 日	1 年 間
ご住所・ご店名	お名前	
ご販売店	お名前	
電話()	電話()	
カスタマーセンター 土・祝日もご利用ください!	0570-033-083	
※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。		
●この保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束します(消耗部品は除く)。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。		
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品は直接当社へ送付した場合の送料などはお客様のご負担とさせていただきます。また、保証期間開始後の修理についても、お買い求めの販売店は、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。		
3. 修理期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申付けください。		
4. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。 ①ご使用上の誤り、および不適な修理や改造による故障および損傷。 ②お買上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落とすなどの誤りによる故障および損傷。 ③火災、地震、噴火、洪水、津波などの水害、落雷、その他の天災地変、戦争、暴動による機器の行為、公害、騒音、ガス漏れ、ねずみや鼠虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電圧(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。 ④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。 ⑤用件以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。 ⑥本保証書を提示・添付されていない場合。 ⑦本保証書をお買上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入がない場合。		
5. 製品対応以上の保証はいたしません。		
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan)		
7. 保証期間中の輸送、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。		